

# 伏見住吉11月特別号

京都市立伏見住吉小学校

## 平成26年前期学校評価アンケートより

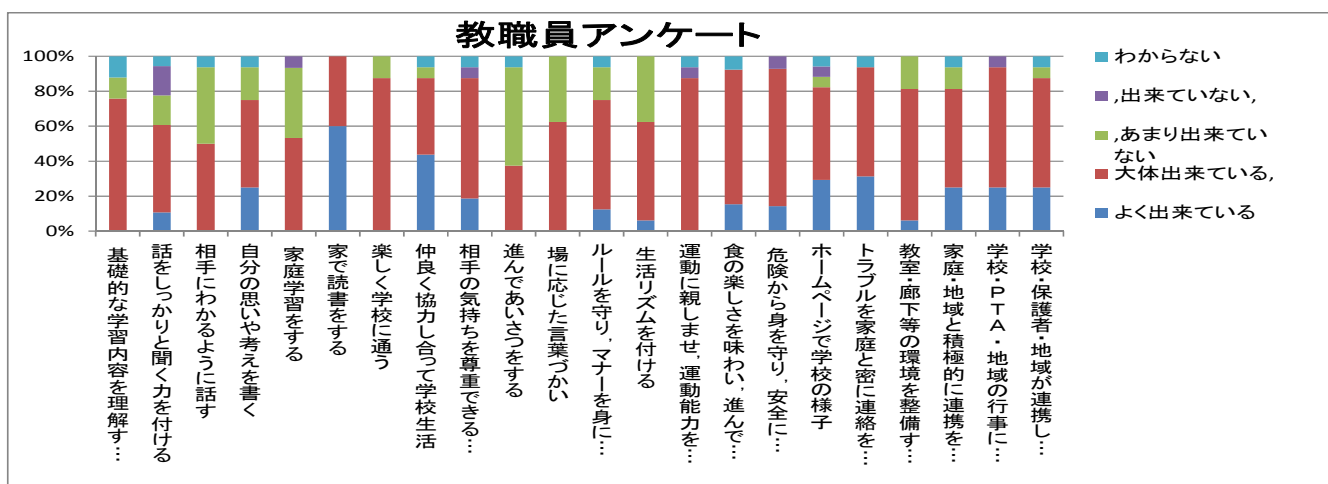
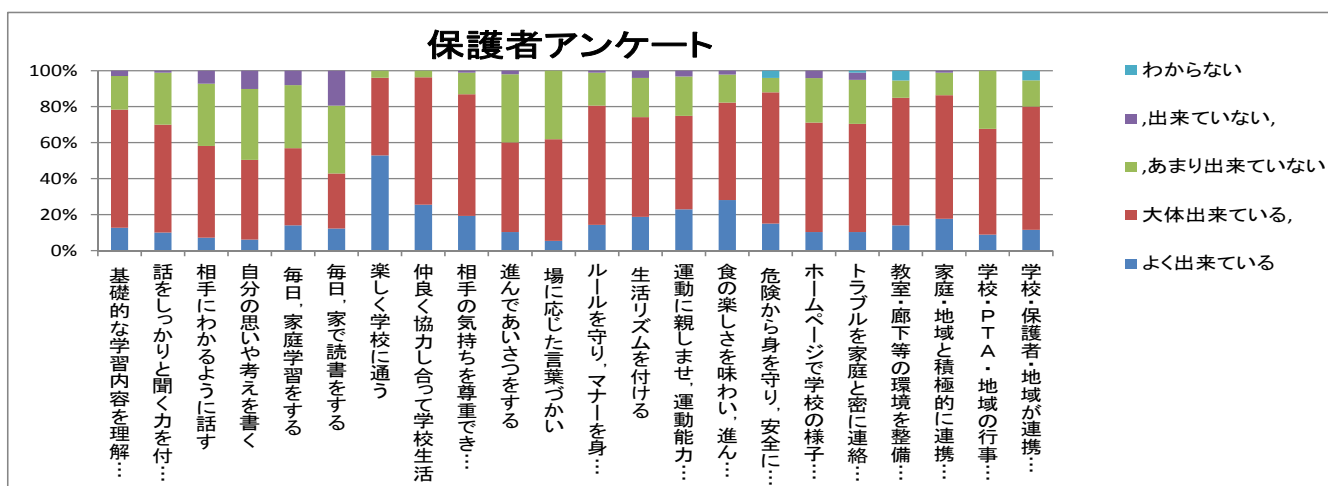
錦秋の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。

10月より後期の活動が始まり、長期宿泊学習や学習発表会などの行事に力一杯取り組んでおります。さて、9月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの結果と共にこれまでの教育活動を振り返り今後の改善に努めてまいります。今年度は報告の書式を少し変えさせていただいてご報告させていただきます。

保護者	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
基礎的な学習内容を理解する力	13%	67%	19%	3%	0%
話をしっかりと聞く力を付ける	10%	60%	29%	1%	0%
相手にわかるように話す	7%	50%	34%	7%	0%
自分の思いや考えを書く	6%	44%	39%	10%	0%
毎日、家庭学習をする	14%	43%	35%	8%	0%
毎日、家で読書をする	12%	30%	37%	19%	0%
楽しく学校に通う	54%	44%	4%	0%	0%
仲良く協力し合って学校生活	28%	78%	4%	0%	0%
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっていること	19%	67%	12%	1%	0%
進んであいさつをする	10%	49%	37%	2%	0%
場に応じた言葉づかい	5%	52%	35%	0%	0%
ルールを守り、マナーを身に付けていること	14%	65%	18%	1%	0%
生活リズムを付ける	19%	56%	22%	4%	0%
運動に親しませ、運動能力を向上	22%	50%	21%	3%	0%
食の楽しさを味わい、進んで食べていること	27%	52%	15%	2%	0%
危険から身を守り、安全に生活	15%	73%	8%	0%	4%
ホームページで学校の様子を知らせる	10%	59%	24%	4%	0%
トラブルを家庭と密に連絡をとり、解決する	10%	59%	24%	4%	1%
教室・廊下等の環境を整備すること	13%	66%	9%	0%	5%
家庭・地域と積極的に連携を図り、取組を進めること	17%	66%	12%	1%	0%
学校・PTA・地域の行事に参加すること	8%	53%	29%	0%	0%
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てる	11%	65%	14%	0%	5%

教職員	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	わからない
基礎的な学習内容を理解する力	0%	75%	12%	0%	12%
話をしっかりと聞く力を付ける	12%	56%	19%	19%	6%
相手にわかるように話す	0%	50%	44%	0%	6%
自分の思いや考えを書く	25%	50%	19%	0%	6%
家庭学習をする	0%	50%	38%	6%	0%
家で読書をする	56%	38%	0%	0%	0%
楽しく学校に通う	0%	44%	6%	0%	0%
仲良く協力し合って学校生活	44%	44%	6%	0%	6%
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっていること	19%	69%	0%	6%	6%
進んであいさつをする	0%	38%	56%	0%	6%
場に応じた言葉づかい	0%	63%	38%	0%	0%
ルールを守り、マナーを身に付けていること	13%	63%	19%	0%	6%
生活リズムを付ける	6%	56%	38%	0%	0%
運動に親しませ、運動能力を向上	0%	88%	0%	6%	6%
食の楽しさを味わい、進んで食べていること	13%	63%	0%	0%	6%
危険から身を守り、安全に生活	13%	69%	0%	6%	0%
ホームページで学校の様子	31%	56%	6%	6%	6%
トラブルを家庭と密に連絡をとり、解決する	31%	63%	0%	0%	6%
教室・廊下等の環境を整備すること	6%	75%	19%	0%	0%
家庭・地域と積極的に連携を図り、取組を進めること	25%	56%	13%	0%	6%
学校・PTA・地域の行事に参加すること	25%	69%	0%	6%	0%
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てる	25%	63%	6%	0%	6%

今回の分析ですべての項目において皆様の評価の現実度について掲載させていただきました。ほとんどの項目において現実度は50%以上「出来ている」と評価していただきました。特に楽しく学校に通っている実現度は98%学力面でも80%以上でした。今後とも期待に添うよう努力を続けます。しかし、家庭学習や家庭での読書の実現度は50%に満たない結果でした。今後の課題として方策を考えていきます。保護者の方・児童と教職員の傾向が同じでした。学校と家庭との連携を大切にして取り組みを進めてまいります。

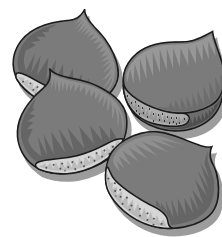


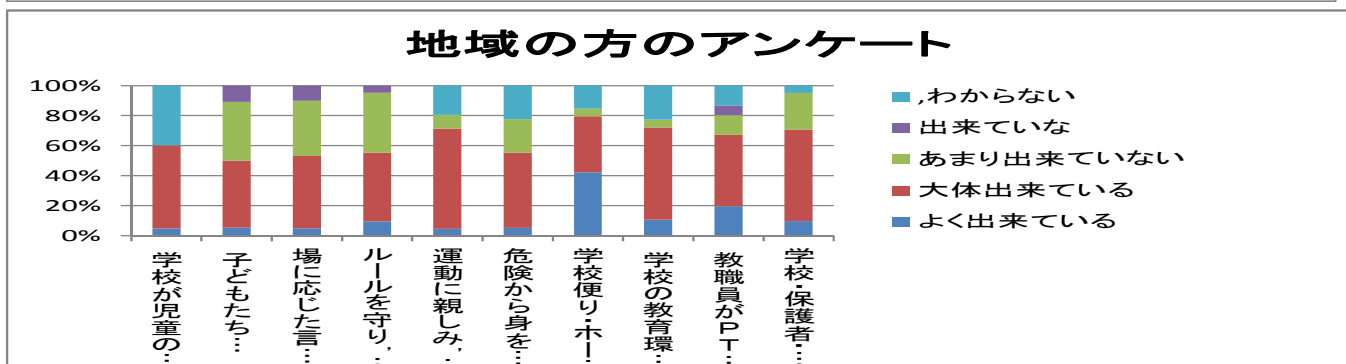
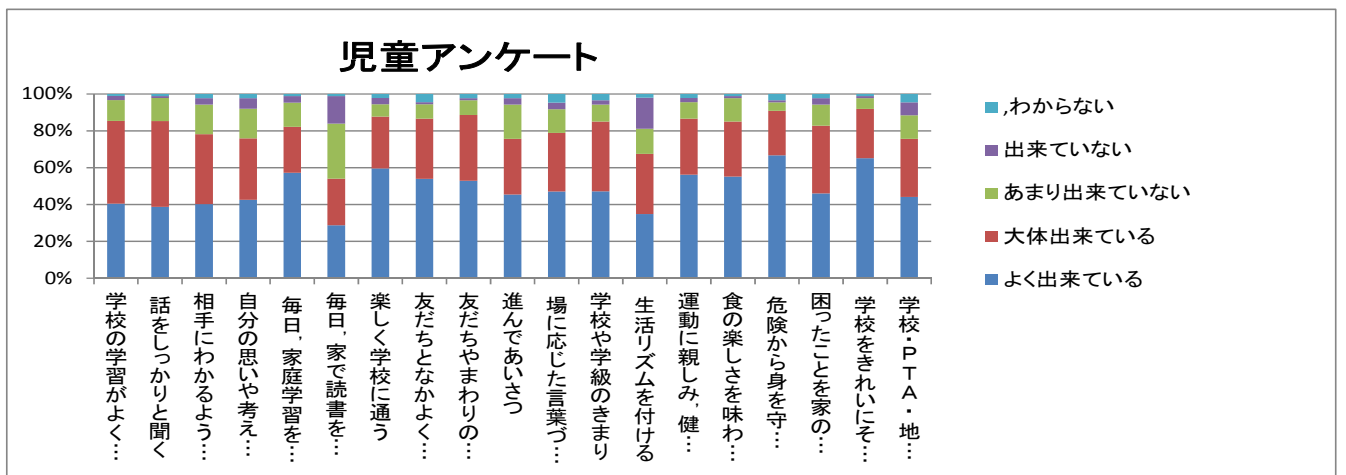
児童	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていな	出来ていない	わからない
学校の学習がよくわかる	36%	40%	10%	2%	1%
話をしっかりと聞く	34%	41%	11%	1%	1%
相手にわかるように話す	35%	33%	14%	3%	2%
自分の思いや考えを書く	37%	29%	14%	5%	2%
毎日、家庭学習をする	48%	21%	11%	3%	1%
毎日、家で読書をする	25%	22%	26%	13%	1%
楽しく学校に通う	53%	25%	6%	3%	2%
友だちとなかよくし、力を合わせる	48%	29%	7%	1%	4%
友だちやまわりの人たちを大切にする	46%	31%	7%	1%	2%
進んであいさつ	39%	26%	16%	3%	2%
場に応じた言葉づかい	40%	27%	11%	3%	4%
学校や学級のきまり	41%	33%	8%	2%	3%
生活リズムを付ける	33%	31%	13%	16%	2%
運動に親しみ、健康な体をつくる	50%	27%	8%	2%	2%
食の楽しさを味わい、進んで食べる	48%	26%	11%	1%	1%
危険から身を守り、安全な生活	58%	21%	4%	1%	3%
困ったことを家の人や先生に相談	40%	32%	10%	3%	2%
学校をきれいにそうじ	56%	23%	5%	1%	1%
学校・PTA・地域の行事に参加する	38%	27%	11%	6%	4%

地域	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていな	出来ていない	わからない
学校が児童の学力向上に向け取り組む	4%	46%	0%	0%	33%
子どもたちが、進んであいさつをする	4%	33%	29%	8%	0%
場に応じた言葉づかいをする	4%	38%	29%	8%	0%
ルールを守り、マナーを身に付ける	8%	38%	33%	4%	0%
運動に親しみ、運動能力を向上させる	4%	58%	8%	0%	17%
危険から身を守り、安全に生活する	4%	38%	17%	0%	17%
学校便り・ホームページ等で情報を発信	33%	29%	4%	0%	12%
学校の教育環境が整備されている	8%	46%	4%	0%	17%
教職員がPTA・地域の行事に参加する	12%	29%	8%	4%	8%
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てる	8%	50%	20%	0%	4%

#### ◆ 結果分析について

- **保護者アンケート**においては、「基礎的な学力」「豊かな心」「基本的な生活習慣」「危険から身を守ること」「子どもとの会話」における重要度が全体の中で高い値を示していました。実現度の高い項目は「確かな学力」「あいさつ・言葉づかい」であり、教職員の実現度と同じ傾向でした。家庭学習や家庭での読書については、保護者と教職員・児童において実現度に違いが見られました。
- **児童のアンケート**においては、全体的に重要度はやや高く、実現度も高い傾向にありました。その中で、実現度がやや高く課題として捉えられている項目は、「読書の習慣」「早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの習慣」となっていました。
- **地域の方々からのアンケート**においては、「場に応じた言葉づかい」「ルールを守り、マナーを身に付ける」の項目の実現度が低い結果でした。実現度で「進んであいさつ」「ルールを守り、マナーを身に付ける」が高くなっていました。あいさつについて、学校だけでなく家庭・地域みんなで取り組むことの大切さのご意見を頂いています。
- **全体の結果**において、実現度が高く、成果が表れている項目としては、「楽しく学に通う」「仲良く協力し合って…」「相手の気持ちを尊重できる優しい心」「危険から身を守り、安全に生活すること」「教室・廊下等の環境が整備されていること」があげられました。「読書の習慣」「早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの習慣」の項目には課題がある結果となりました。





◆ 今後の課題について

- **確かな学力** 各教科において言語活動を充実し、児童の話す力・書く力を付ける取組を進めてきました。表現力をより豊かなものにするためには、読書の習慣付けも大切です。図書室を活用する児童も増えています。さらに読書の習慣を付け、学力の基礎となる語彙力・思考力等を伸ばしていくことが今後の課題です。
- **豊かな心** さまざまな取組を通して思いやりの心や感謝の心が育まれています。CSS 活動やフレンドリー活動、地域の方々にお世話になった体験学習など、友達や地域とつながる機会も多く、学校教育目標にもある社会性を育む人間形成に繋がっています。しかし一方で、相手に対する感謝の思いが言葉や態度になかなか表せない実態も見えてきます。教職員をはじめ、周りにいる大人がよい手本となって、礼儀や規範意識が身に付くように心がけていきます。
- **健やかな体** 食育への関心が高まっている一方で、「早寝・早起き・朝ごはん」の実現度が保護者・児童の回答で下がっています。子どもたちの成長の土台となる生活習慣の確立は大切です。食育の取組や健康教育、保健だより・学校便りでの呼びかけ等子どもたちの健やかな体作りに積極的に取り組んでいきます。
- **学校・保護者・地域との連携** PTA や地域の諸団体の皆様にご尽力いただき、安全の見守りや豊かな心を育む取組が年々充実し、地域ぐるみの教育が発展しています。教職員も保護者もこのような取組に積極的に参加し、子どもたちが豊かな繋がりの中で伸びていくことができるよう、今後ご支援をよろしくお願いします。